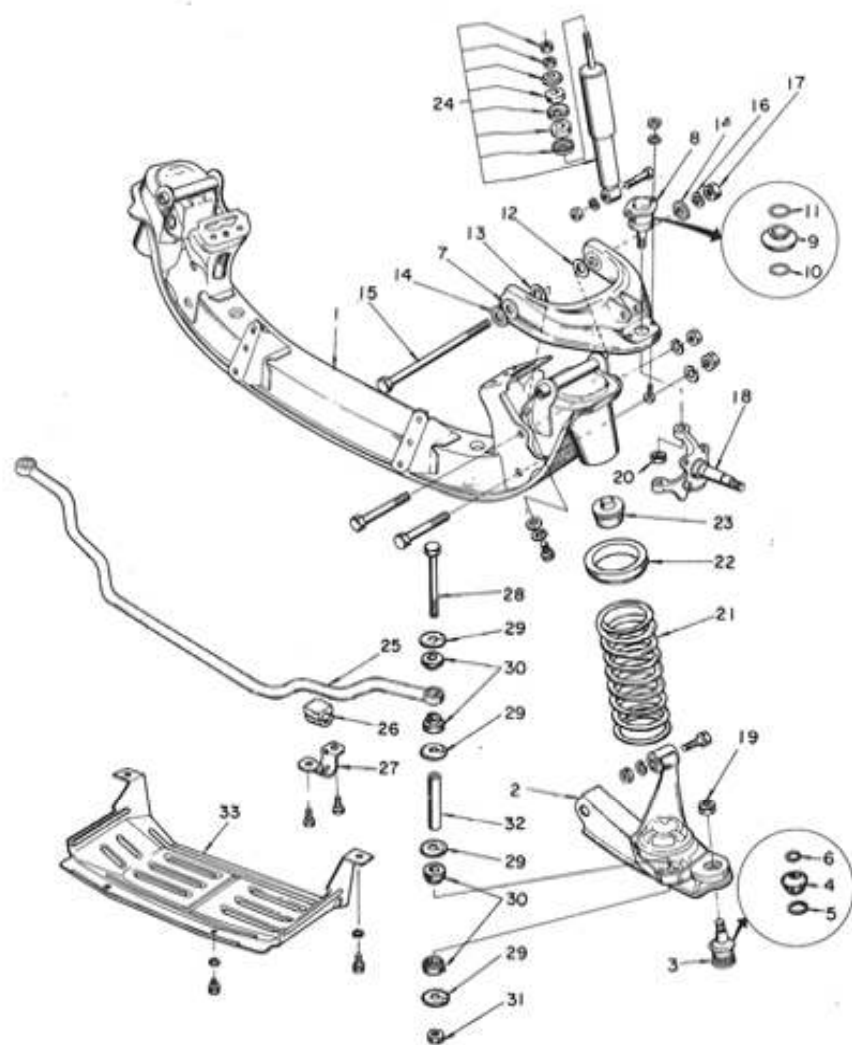


7-1 構成部品図



第 7-1 図

部 品 名 称

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 1 クロスメンバーアッセンブリ | 18 ナット |
| 2 ロワーリンクアッセンブリ | 19 ナット; ロワーリンク・エンド〜ナット |
| 3 ロアールリンク・エンドアッセンブリ | 20 ナット; アッパーリンク・エンド〜ナット |
| 4 ブーツ; ロアールリンク・エンド | 21 コイルスプリング |
| 5 リング; ブーフロー | 22 ダンパ; コイルスプリング |
| 6 リング; ブーツアッパ | 23 パンパラー |
| 7 アッパーリンクアッセンブリ | 24 ショックアブソーバアッセンブリ |
| 8 アッパーリンク・エンドアッセンブリ | 25 スタビライザー |
| 9 ブーツ; アッパーリンク・エンド | 26 ラバーブッシュ; スタビライザー |
| 10 リング; ブーツロー | 27 クランプ; スタビライザー |
| 11 リング; ブーツアッパ | 28 ボルト; スタビライザー〜ロワーリンク |
| 12 ワッシャ; アッパーリンク〜クロスメンバー | 29 リテーナ; スタビライザー |
| 13 ワッシャ; アッパーリンク〜クロスメンバー | 30 パッファラバー; スタビライザー |
| 14 ワッシャ; アッパーリンク〜クロスメンバー | 31 ロックナット; スタビライザー |
| 15 ボルト; アッパーリンク〜クロスメンバー | 〜ロワーリンク |
| 16 スプリングワッシャ; アッパーリンク | 32 ディスタンスチューブ; スタビライザー |
| 〜クロスメンバー | 33 アンダカバー |
| 17 ナット; アッパーリンク〜クロスメンバー | |

7-2 フロント・ショックアブソーバ

7-2-1 主要諸元

型 式		筒型複動油圧式
ストローク	mm	147
最伸長	mm	397
最縮長	mm	250
減衰力 (0.3m/sec時)	kg	38~54 (伸側) 13~25 (縮側)

7-2-2 取 外 し

(1) 車両前部をジャッキアップしてシャシスタン
ドで支え、ホイールを取外す。

(2) アッパーリンクからショックアブソーバ下部を
取外す。



第 7-2 図

(3) エンジンルーム内のショックアブソーバ取付
ナット、ロックナットを外し、ショック
アブソーバを取外す。



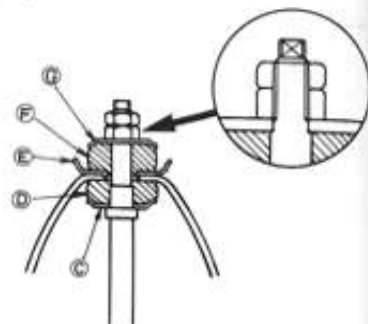
第 7-3 図

7-2-3 取 付 け

取付けは取外しの逆の順序で行ない、次の点に注意する。

- (1) ショックアブソーバの上部は図に示すようにワッシャ①、クッションラバー②、ワッシャ③、クッションラバー④、ワッシャ⑤を組付け、締付ナット（厚い方）をロッドねじ山の終りまで締付けてから、ロックナット（薄い方）でロックする。
- (2) ショックアブソーバの下部を規定のトルクで締付ける。

締 付 ト ル ク	kg・m	4.0
-----------	------	-----



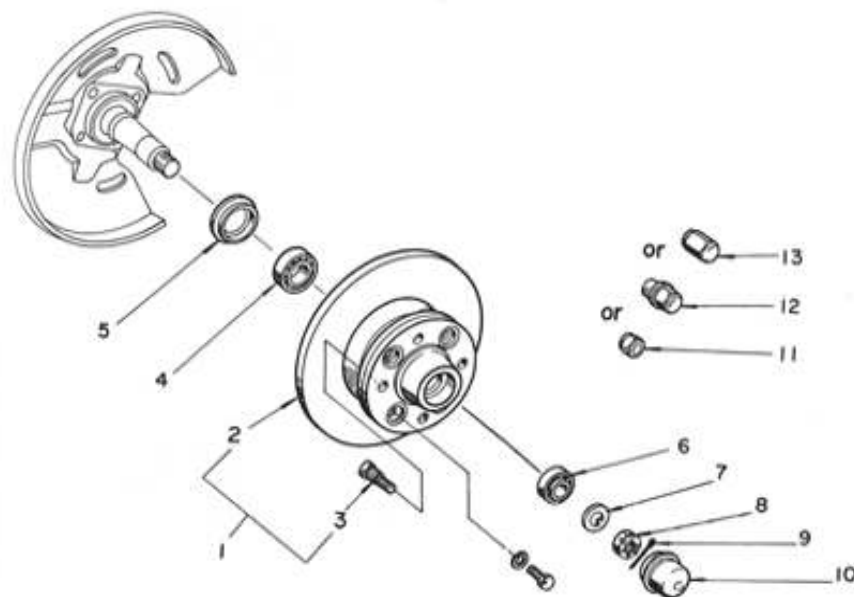
第 7-4 図

7-2-4 点 検

- (1) 油漏れ、減衰力の低下、ロッドの曲り、異音等を点検し、不具合がある場合は交換する。
- (2) クッションラバーのへたり、損傷がある場合は交換する。

7-3 フロントハブ

7-3-1 構成部品図



第 7-5 図

部 品 名 称

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1 ハブ&ディスクアッセンブリ | 8 ナット;ベアリングへナット |
| 2 ハブ&ディスク | 9 スプリットピン |
| 3 ホイールピン | 10 ハブキャップ |
| 4 インナベアリング;ハブ | 11 ホイールナット |
| 5 オイルシール;ハブ | 12 ホイールナット |
| 6 アウタベアリング;ハブ | 13 ホイールナット |
| 7 ワッシャ;ベアリングへナット | |

7-12 ホイールアライメント

7-12-1 主要諸元

キ	ャ	ン	バ	度	0°08'	+0°30'
キ	ャ	ス	タ	度	5°10'	-1°
ト	ー	イ	ン	mm	3.1	±1.0
キ	ン	グ	ビ	ン	角	度
最	小	回	転	半	径	mm
切	れ	角	度		38° (内側)	
					35° (外側)	

7-12-2 点検

フロント・ホイールアライメントの調整を行なう場合は、次の項目を点検する。

- ①タイヤの空気圧、偏摩耗及びサイズ違い
- ②ホイールの振れ
- ③アッパリンク・エンド、ロワーリンク・エンドのガタ
- ④フロント・ハブベアリングのガタ
- ⑤ステアリングのインナ・ボールジョイント及びロッドエンドのガタ

7-12-3 調整

(1) キャスタ、キャンバ

キャスタ及びキャンバは無調整式を採用しているので、調整する必要はない。なお、キャスタ、キャンバが許容範囲を外れている場合にはロワーリンク、アッパリンクアセンブリ及びフロント・コイルスプリングを点検し、必要に応じて部品を交換する。

注 アッパリンク・エンドの取付け部はオフセットされており、取付けを180度反転させることにより、キャンバ値を50°変えることができる。

(2) トーイン

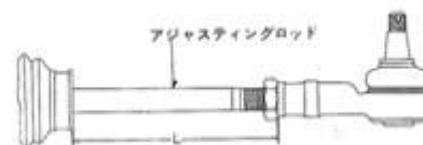
- 1) ステアリング・ロッドエンドのロックナットをゆるめる。



第 7-65 図

- 2) 左右のアジャスティングロッドを回し、アジャスティングロッドの長さをL寸法に調整する。

L 寸 法	mm
右	127
左	127



第 7-66 図

注 左右アジャスティングロッドは、右ねじを使用しているので調整の場合は注意する。

右側：ロッドを車輪の前進方向に回す——増

ロッドを車輪の後退方向に回す——減

左側：ロッドを車輪の前進方向に回す——減

ロッドを車輪の後退方向に回す——増

- 3) 調整後、トーイン測定し測定値が3.1±1mm内にあることを確認してトラックロッド・エンドのロックナットを締付ける。

ロックナット締付トルク	k·gm
	6.0

(3) タイヤの切れ角

ステアリングラック・ストッパにより決まるため、調整作業は必要としない。

7-12-4 測 定

(1) キャンバ

測定は定盤上で行なうが、定盤がない場合はできるだけ水平な床面を利用する。

- 1) 前輪をジャッキアップし、左右前輪を直進状態にしてターニングラジアス・ゲージをタイヤの下に入れ、ゲージの中心とタイヤの接地面中心が合うように静かにジャッキをおろす。
- 2) 車体を上下にゆさぶり、サスペンションの不自然な状態をフリーにする。
- 3) フロントハブ・キャップを外し、スプリットピンを抜き取りステアリングナットのスピンル先端部に、キャンバ・キャスト・キングピン・ゲージを水平に密着させる。
- 4) この状態におけるキャンバ (CAMBER) スケールの気泡中心の読みがそのままキャンバ測定値になる。

キャンバ	$0^{\circ}08'$ $+30'$ $-1'$
------	--------------------------------



第 7-67 図



第 7-68 図

(2) キャスタ及びキングピン傾斜角の測定

キャスト及びキングピン傾斜角は同一作業工程で測定することができる。

- 1) キャンバ測定後、ターニングラジアス・ゲージの目盛が0に合わされた位置から車輪が20度向きを変えるまで静かにハンドルを回す。右車輪の測定の場合は右方向に、左車輪の測定の場合は左方向に回す。



第 7-69 図

- 2) 20度旋回したところでキャンバ・キャスト・キングピン・ゲージのアジャスタを回し、キャスト (CASTER) スケールとキングピン (KINGPIN) スケールの気泡中心を0に合わせる。



第 7-70 図

- 3) 次にハンドルを反対方向へ静かに回し、車輪が直進位置より逆方向に20度旋回したところで止める。

この位置におけるキャストスケール及びキングピン・スケールの気泡中心の読みがキャストアングル及びキングピン傾斜角の測定値になる。

キャスト	$5^{\circ}10'$ $+1'$ $-1^{\circ}30'$
キングピン傾斜角	$7^{\circ}50'$



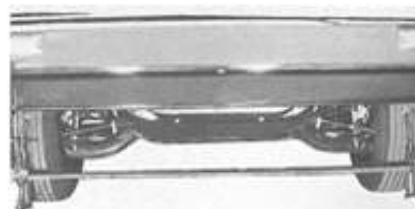
第 7-71 図

キャスト、キャンバ及びキングピン傾斜角に異常を生じた場合は、次の点検を行ない必要に応じ部品を交換する。

- ①フロント・コイルスプリングのへたり
- ②アッパリンク、ロワーリンクの変形
- ③アッパ及びロワーリンク・エンドのガタ
- ④アッパ及びロワーリンク・ブッシュの摩耗、へたり

(4) トーイン

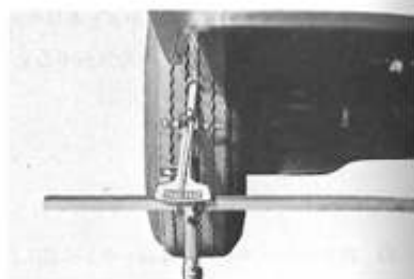
- 1) フロントクロスメンバをジャッキアップし、ホイールを直進状態に向ける。左右各タイヤの前側及び後側のタイヤトレッド中心部に白墨などを塗付ける。



第 7-72 図

2) トースカンカトーインゲージの針を左右各タイヤのトレッド中心に当てがってホイールを1回転させ、測定線を引き、ジャッキをおろす。

3) トーインゲージの左右針の高さをホイールの軸中心に合うよう調整し、ゲージの目盛を0に合わせたまま左右タイヤの前側につけた測定線に2本の針の先端が合うようにゲージを伸縮して調節し固定する。



第 7-73 図

4) 前項で調節したトーインゲージをタイヤ後側におき、ゲージの固定針を一方のタイヤの測定線に合わせ、反対側タイヤ測定線に可動針が合うよう目盛ダイヤルをまわし調整する。このときの目盛ダイヤルの読みが前後各寸法の差（後側寸法-前側寸法）でトーインである。



第 7-74 図

トーイン	mm	3.1±1.0
------	----	---------

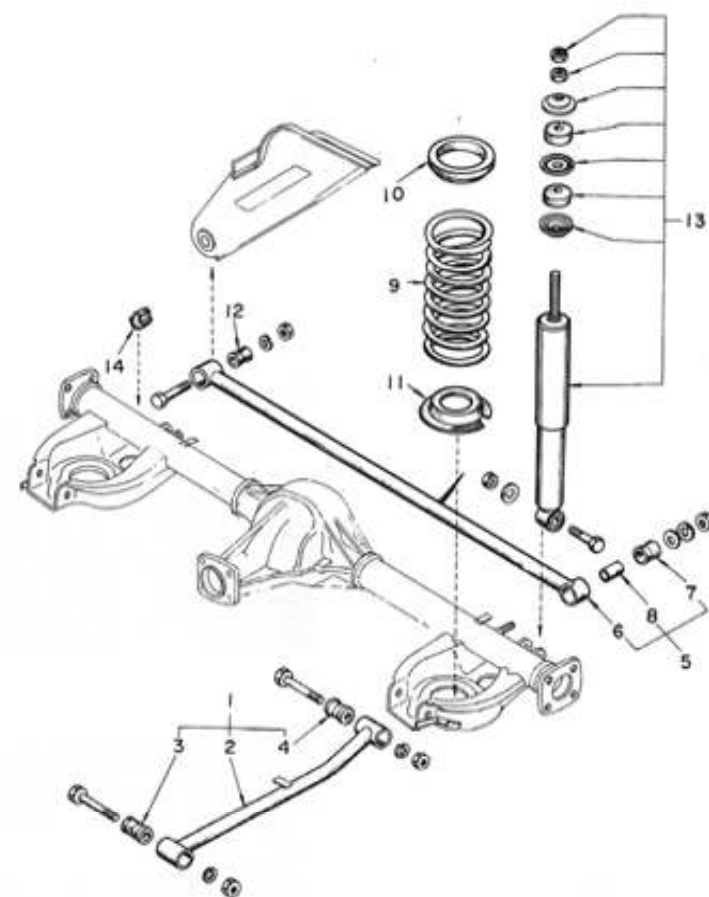
(5) サイドスリップ測定

キャスタ、キャンバ、トーイン、キングピン傾斜角を正規の状態に調整した後、サイドスリップ・テストを使用し、サイドスリップを測定する。

7-13 トラブルシューティング

状 況	原 因	処 置 方 法
(1) ステアリングホイールの振動、シミー	① タイヤの空気圧不良	調整
	② ロードホイールのアンバランスまたは変形	バランス修正または交換
	③ タイヤの偏摩耗または締付け不良	タイヤ交換または増締め
	④ タイヤの真円度不良	タイヤとディスクホイールのマッチング修正またはタイヤの切削修正
	⑤ アップ及びローワーリンク・エンドのガタ	交換
	⑥ アップ及びローワーリンクのラバーブッシュ摩耗、へたり	交換
	⑦ ステアリングラックとピニオンの調整不良	調整
	⑧ ホイールアライメントの狂い	調整
	⑨ ステアリングのインナ及びアウトロード・エンドのガタ	交換
	⑩ フロント・ハブベアリングのガタ	調整または交換
	⑪ ショックアブソーバの機能不良及びラバーブッシュのへたり	交換
	⑫ ステアリングハウジングのゆるみ	増締め
	⑬ スタビライザのラバーブッシュ摩耗、へたりまたは締付け不良	交換または増締め
(2) ステアリングホイールが一方方向にとられる	① タイヤ空気圧のアンバランス	調整
	② タイヤの摩耗量が左右異なる	交換
	③ フロント・ハブベアリングの不良	調整または交換
	④ フロント・コイルスプリングの衰損または仕様違い	交換
	⑤ ホイールアライメントの狂い	調整
	⑥ アップ及びローワーリンク・エンドのガタ	交換
	⑦ アップ及びローワーリンクのラバーブッシュ摩耗、へたり	交換
	⑧ ブレーキのひきずり	分解

8-1 構成部品図



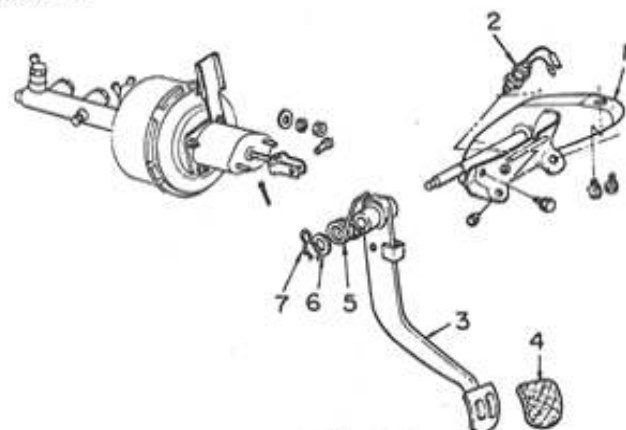
第 8-1 図

部 品 名 称

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. トレーリングリンクアッセンブリ | 8. ラテラルロッド・スリーブ |
| 2. トレーリングリンク | 9. リヤ・コイルスプリング |
| 3. ラバーブッシュ; フロント | 10. ダンパバール |
| 4. ラバーブッシュ; リヤ | 11. ダンパ |
| 5. ラテラルロッドアッセンブリ | 12. ラバーブッシュ; ラテラルロッド |
| 6. ラテラルロッド | 13. ショックアブソーバアッセンブリ |
| 7. ラバーブッシュ; ラテラルロッド | |

10-2 ブレーキペダル

10-2-1 構成部品図



第 10-1 図

部 品 名 称

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1. ブラケット・アッセンブリ | 5. リターンスプリング |
| 2. ストップランプ・スイッチ | 6. ワッシャ |
| 3. ブレーキペダル・アッセンブリ | 7. スナップリング |
| 4. ブレーキペダル・カバー | |

10-2-2 取 外 し

- (1) ストップランプ・スイッチ④の配線をコネクタ部で外す。
- (2) ブレーキペダル⑧のアーム部からプッシュロッド・クレビス⑨のジョイントピン⑩を抜き取り、ブレーキペダルとクレビスを切離す。
- (3) ペダルブラケットの締付ボルト⑪と締付ナット⑫を外し、ブレーキ及びクラッチペダル付きでペダルブラケット・アッセンブリを取外す。



第 10-2 図

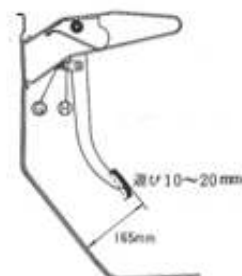
注 クラッチペダル側のペダルシャフトは、ボデーパネルに溶接されたブラケットの軸受部に差込まれているので取外し時には注意する。

10-2-3 取 付 け

取付けは、取外しの逆の順序で行ない、ブレーキペダルの高さ及びストップランプ・スイッチのすき間を調整する。

(1) ブレーキペダルの高さ調整

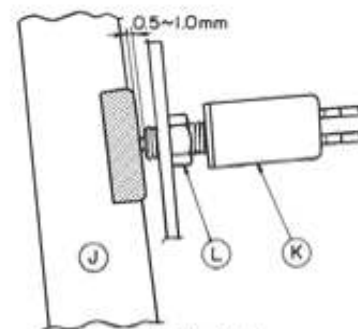
- 1) フロアカーペット上面からブレーキペダル・パッド上面までの距離が約 165mm になるようにプッシュロッド⑤を回して調整する。
- 2) 調整後、クレビスのロックナット⑥を確実に締付ける。



第 10-3 図

(2) ストップランプ・スイッチの取付け

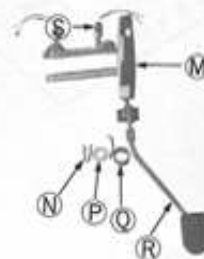
- 1) ブレーキペダル⑧のアームとストップランプ・スイッチ④のねじ部とのすき間が 0.5~0.1mm になるようにスイッチ本体を回して調整する。
- 2) 調整後はストップランプ・スイッチのロックナット⑫を確実に締付ける。



第 10-4 図

10-2-4 分 解

- (1) クラッチペダルを取外す。
- (2) ペダルブラケット⑭のペダルシャフトからスナップリング⑮、ワッシャ⑯、リターンスプリング⑰、ブレーキペダル⑧を取外す。
- (3) ストップランプ・スイッチ④を取外す。



第 10-5 図

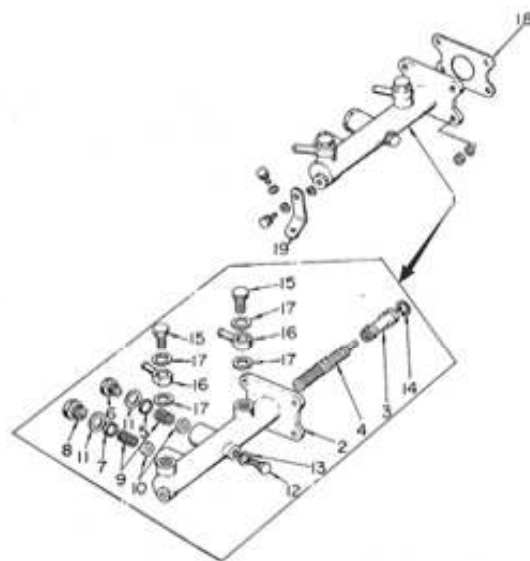
10-2-5 点 検

分解した各部品を点検し、不具合のあるものは修正または交換する。

- (1) ブレーキペダルの曲り、ねじれ、き裂及び軸受部の摩耗
- (2) リターンスプリングのへたり及びワッシャの摩耗、損傷
- (3) ペダルブラケット及びシャフトの曲り、損傷、摩耗、き裂

10-3 タンデム・マスタシリンダ

10-3-1 構成部品図



第 10-6 図

部 品 名 称

1. マスタシリンダ・アッセンブリ; タンデム
2. シリンダボデー
3. ピストンアッセンブリ; プライマリ
4. ピストンアッセンブリ; セカンダリ
5. チェックバルブ; プライマリ
6. パイプコネクタ; フロントブレーキ
7. チェックバルブ; セカンダリ
8. パイプコネクタ; リヤブレーキ
9. チェックバルブ; スプリング
10. スプリングリテーナ; チェックバルブ
11. ガasket; パイプコネクタ
12. ストップボルト
13. ガasket; ストップボルト
14. スナップリング
15. アイボルト
16. コネクタ
17. ガasket; コネクタ
18. ガasket; マスタシリンダへ
マスタバック
19. ブラケット

10-3-2 取 外 し

- (1) マスタシリンダからブレーキパイプ④ (フロント、リヤ)、マスタバックへの取付ナット⑤4個、ブラケット⑨との取付ボルトをゆるめて外す。
- (2) マスタシリンダ・アッセンブリをブレーキ・フルードタンク (ラバーホース付き) と共に取外す。

注 作業の際、ブレーキ液を塗装面にこぼさないように注意する。



第 10-7 図

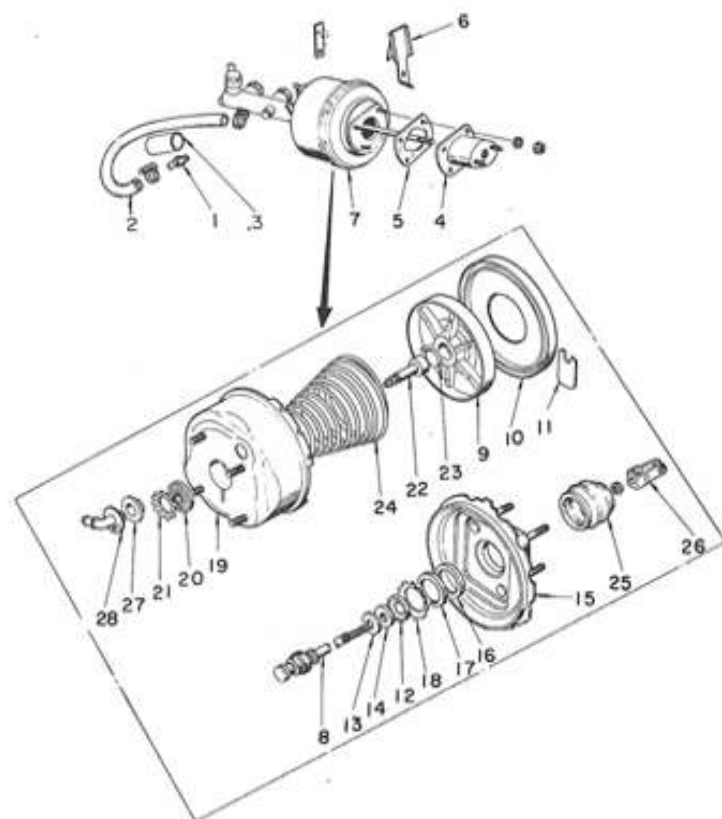
10-3-3 取 付 け

取付けは取外しの逆の順序で行なった後、エア抜き作業を行なう。

主要部の締付トルク (kg・m)

マスタシリンダとマスタバックの締付け	1.3
ブレーキパイプ・フレアナットの締付け	1.6

10-4-2 構成部品図



第 10-24 図

部 品 名 称

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1. コネクタ | 15. リアシールアセンブリ |
| 2. パキュームホース | 16. シール |
| 3. ビニールパイプ | 17. ベアリング |
| 4. スペーサ; マスタバック〜ダッシュパネル | 18. リテーナ |
| 5. ガasket; マスタバック〜スペーサ | 19. フロントシールアセンブリ |
| 6. ブラケット | 20. シールアセンブリ |
| 7. マスタバックアセンブリ | 21. リテーナ |
| 8. パルプロッドアセンブリ | 22. プッシュロッドアセンブリ |
| 9. ダイアフラムプレート | 23. リアクッションディスク |
| 10. ダイアフラムアセンブリ | 24. スプリング |
| 11. キー | 25. ブーツ |
| 12. リテーナ | 26. クレビスヨーク |
| 13. フィルタ | 27. グロメット; チェックバルブ |
| 14. サイレンサ | 28. チェックバルブ |

10-4-3 取 外 し

- (1) マスタシリンダを取外す。
- (2) パキュームホース④のクリップ⑥をインレットマニホールド側でゆるめ、パキュームホースを取外す。



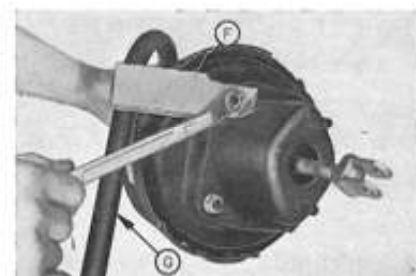
第 10-25 図

- (3) ブレーキペダルのアーム部からプッシュロッド・クレビス②のジョイントピン②を抜取り、ブレーキペダルとクレビスとの接続を切離す。
- (4) ダッシュパネルからマスタバック取付ナット⑤を外し、エンジンルーム側よりマスタバックを取外す。



第 10-26 図

- (5) パキュームホースのブラケット⑥とパキュームホース④を取外す。

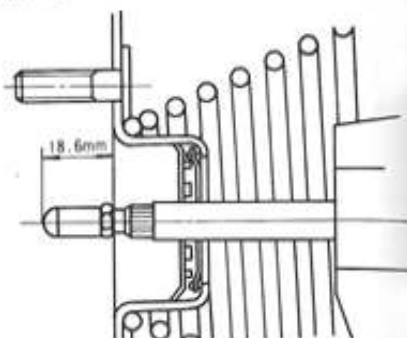


第 10-27 図

10-4-4 取 付 け

取付けは取外しの逆の順序で行なうが、次の点に注意する。

- (1) マスタバックにマスタシリングを取付ける前に、マスタバックのフランジ面からブッシュロッド先端までの寸法が18.6mmあることを確認する。もし基準寸法から外れている場合は、ブッシュロッドのロックナットをゆるめて調整する。この状態でマスタシリングのピストンとブッシュロッドの間隔が約1.0mmになる。



第 10-28 図

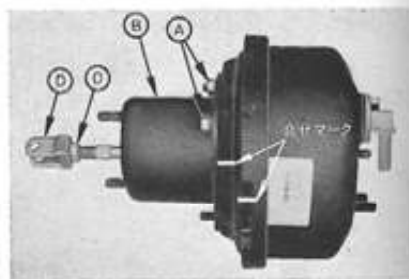
- (2) ブレーキペダルの高さを調整する。
 (3) マスタバックをダッシュパネルに取付ける際は、ベルコボンド No. 4 をスペーサ取付面に塗布して締付ける。

スペーサ〜ダッシュの締付トルク	kg・m	1.4
-----------------	------	-----

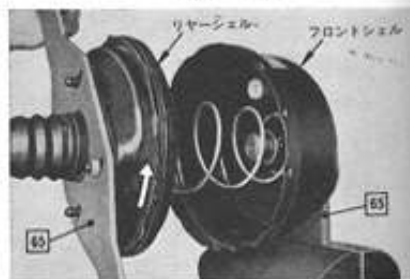
10-4-5 分 解

- (1) マスタバックを分解する前に、各接合部に合マークを付ける。
 (2) マスタバックのリヤシエル部から取付ナット④ (3箇) を外し、スペーサ⑤を取外す。
 (3) オペレーティングロッドからクレビス①のロックナット②をゆるめ、クレビス、ロックナットを取外す。
 (4) 特殊工具⑧; サポートプレートをバイスに固定し、マスタバックをフロントシエル側 (マスタシリング側) のスタッドを利用して取付ける。同様にリヤシエル側のスタッドを利用して特殊工具⑧; ハンドルを取付け、ハンドルを反時計方向 (矢印の方向) に回してフロントシエルとリヤシエルを分離する。

(特殊工具⑧: 5-85291-006-0)
 " : 5-85290-005-0)



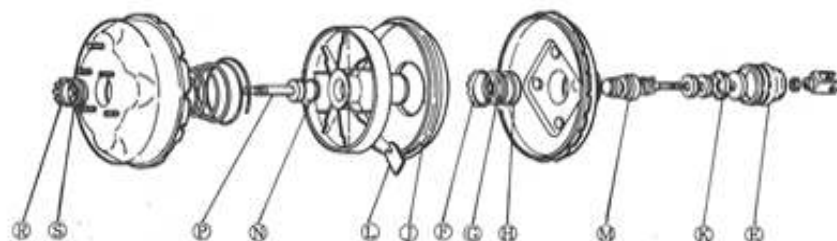
第 10-29 図



第 10-30 図

注 リヤシエルを外すと、ダイヤフラムスプリングがはねあがるので注意する。

- (5) リヤシエルからブーツ⑩を外し、ダイヤフラムプレートアセンブリを抜取る。
 (6) リヤシエルアセンブリからリテーナ⑪を外し、プレート⑫、シール⑬を取外す。
 (7) ダイヤフラムプレートアセンブリからダイヤフラム⑭、サイレンサリテーナ⑮を外し、バルブプランジャ・ストップキー⑯を抜取り、プランジャアセンブリ⑰、リアクションディスク⑱を取外す。
 (8) フロントシエルアセンブリからブッシュロッド⑲、リテーナ⑲、シール⑳を取外す。

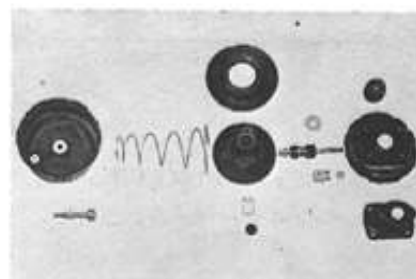


第 10-31 図

10-4-6 点 検

- (1) 各部品を洗浄し、乾燥させ (ゴム部品及び樹脂部品はきれいにふきとる) 各部の点検を行なう。

注 洗浄剤として金属部品はトリクレン、メタ
 クレンを用い、ゴム及び樹脂部品にはアルコ
 ールを用いる。

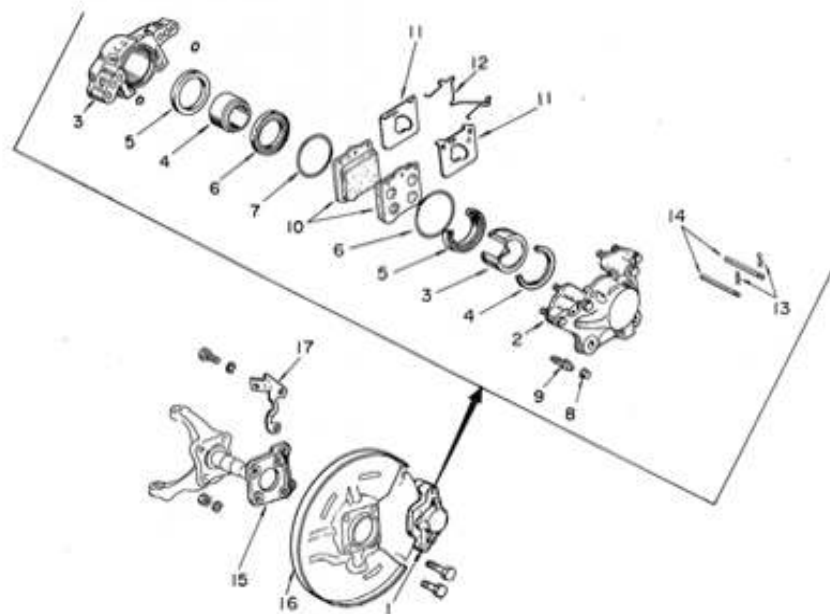


第 10-32 図

- (2) ダイヤフラム、シール、リアクションディスク等の損傷、変形、へたりを点検し、不具合がある場合は交換する。
 (3) ポベットを点検し、摩耗している場合はポベットアセンブリで交換する。
 (4) ダイヤフラムプレート、チェックバルブ、パキュームホースを点検し、損傷などの不具合がある場合は交換する。

10-5 ディスクブレーキ

10-5-1 構成部品図



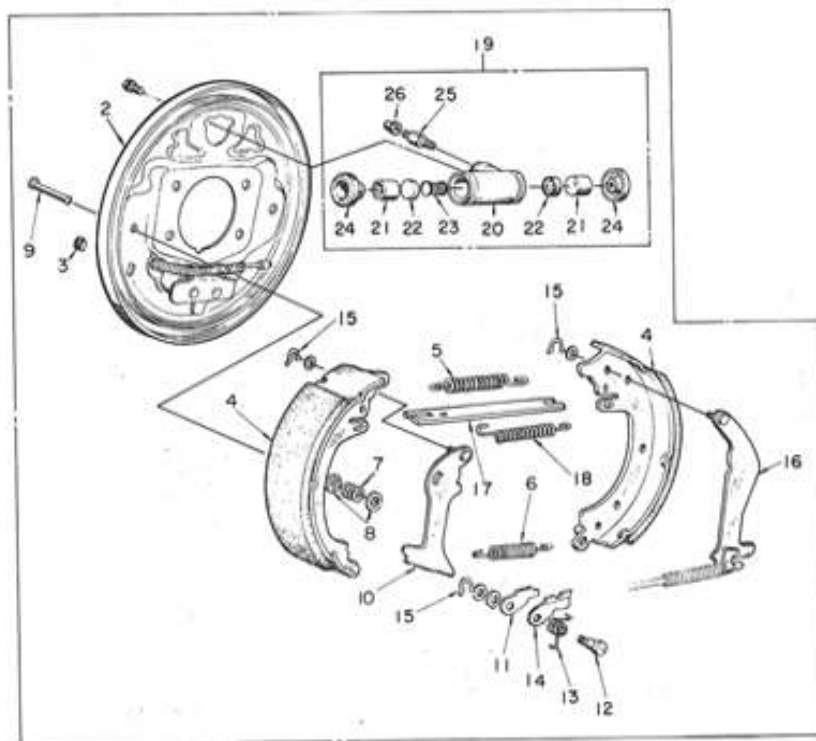
第 10 - 40 図

部 品 名 称

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. キャリッパアッセンブリ | 10. パッドアッセンブリ |
| 2. インナキャリパ | 11. シム;パッド |
| 3. アウタキャリパ | 12. Mタイプ・スプリング |
| 4. ピストン | 13. クリップ |
| 5. ピストンシール | 14. ピン |
| 6. ダストシール | 15. アダプタ |
| 7. リテーナ | 16. ダストカバー |
| 8. ブリーダキャップ | 17. ブラケット |
| 9. ブリーダ | |

10-6 リヤブレーキ

10-6-1 構成部品図



第10-55図

部 品 名 称

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. リヤブレーキ・アッセンブリ | 14. ストップ |
| 2. バックプレート・アッセンブリ | 15. リターナ |
| 3. グロメット | 16. パーキングブレーキ・レバーアッセンブリ |
| 4. ブレーキシュー・アッセンブリ | 17. ストラット |
| 5. スプリング・アップ | 18. スプリング |
| 6. スプリング・ロー | 19. ホイールシリンダ・アッセンブリ |
| 7. スプリング・シューホルダ | 20. ボデー |
| 8. カップ・シューホルダ | 21. ピストンアッセンブリ |
| 9. ピン・シューホルダ | 22. ピストンカップ |
| 10. オートアジャスト・レバーアッセンブリ | 23. スプリングアッセンブリ |
| 11. ラッチ | 24. ホイールシリンダ・ブーツ |
| 12. ピン | 25. ブリダ |
| 13. スプリング | 26. ブリダキャップ |

10-6-2 取 外 し

- (1) 車両後部をジャッキアップしてシャシスタンドで支え、リヤホイール及びブレーキドラムを取外す。

注 ブレーキドラムが段付摩耗して外れない場合は、バックプレート裏面についているアジャストプレート・カバーを取外し、ドライブで自動調整装置のラッチを下に押し、シューとブレーキドラムのすき間を大きくしてからブレーキドラムを取外す。

- (2) リターンスプリング④、⑤を外し、次にシューホルダ・ピン⑨を外してカップとスプリングを取外す。



第10-56図

- (3) オートアジャスト・レバー⑩をいっぱいまで広げ、ストラット⑬との連結を外してプライマリシュー⑧を取外す。



第10-57図

- (4) パーキングブレーキ・レバー⑬からパーキングブレーキ・ケーブル⑩との接続を切離してセカンダリシュー⑦を取外す。



第10-58図